

2024 年度 政策研究大学院大学  
公共工事入札監視委員会議事概要（案）

開催日及び場所	2024 年 12 月 11 日（水） 14：30～16：00 政策研究大学院大学 3 B 会議室	
委 員	委員長 青山 伸一（公認会計士） 委 員 川瀬 貴晴（名誉教授） 委 員 松原 健一（弁護士） ※五十音順	
審議対象期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日（2023 年度）、 2024 年 4 月 1 日～2024 年 11 月 30 日（2024 年度途中）	
抽 出 案 件（合計）	2 件	（備考） ・入札監視委員会設置要項に基づき、互選により青山委員を委員長に選出した。 ・事務局より、契約事務取扱規程の説明を行った。 ・個別審議案件について事務局から説明を行い、質問等への回答を行った。 ・審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなかった。
工 事（小計）	2 件	
一般競争入札 <small>（政府調達に関する協定対象工事）</small>	0 件	
一般競争入札 <small>（上記工事を除く）</small>	2 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務 <small>（小計）</small>	0 件	
簡易公募型 プロポーザル（拡大）	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

## 昨年度講評を踏まえての対応状況

<p>昨年度公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札プロセスの中で業者がどの時点で参加辞退としてきたのか、次回資料から検討願いたい。</li> </ul> <p>対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加資格申請のあった業者については、入札を辞退する場合には、辞退届の確実な提出を指示している。また、入札資料の交付請求のみあった事業者についても、聞き取りにより、参加を見送りとした理由の回答を協力依頼している。</li> </ul>
---

質 問	回 答
<p>1. 個別審議について</p> <p><b>(1) 国立新美術館側外構改修工事</b></p> <p><b><u>国立新美術館側外構改修工事 (再度公告)</u></b></p> <p><b><u>【一般競争入札】</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当初公告、再度公告と入札を行っているが、予定価格は再度公告の方が高くなっているのか。</li> <li>当初公告の入札において再度入札を2回で打ち切っているがその理由は何か。</li> <li>再度公告の入札スケジュールは、当初公告と比べどうなっているのか。</li> <li>工期末を3月末としていないのは何故か。</li> <li>辞退した事業者へ辞退理由はどのように確認したのか。</li> <li>再度公告における仕様変更は産廃処理に係る部分なのか。</li> <li>昨年より各所で入札不調が相次いでいるが、建設単価の上昇分等は設計に見込んでいるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再度公告にあたり仕様書の内容を変更し、再積算をおこなったことで、再度公告の予定価格は当初公告時より高くなっている。</li> <li>公告において入札執行回数は原則2回までとしているため。</li> <li>当初公告は1か月半程度のスケジュールで行ったが、再度公告は1か月程度と短くしている。</li> <li>完成検査の日程や大学行事等を見込んでいるため。</li> <li>辞退届を提出した事業者には、辞退届提出時点で確認している。資料請求のみあった事業者には、電話等でこちらから理由を問い合わせている。</li> <li>大きなものとして産業廃棄物処理があるが、それを含めた全体で調整、再積算している。</li> <li>設計時点における最新の物価本を使用する等、適正な積算に勤めているが、今回入札においては、市場の価格高騰や設計内容の違いで、当初公告の予定価格が低くなっている。</li> </ul>

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業者には工事の設計と内訳の作成を委託しているのか。</li> <li>・設計業者が算定に使用した根拠資料はどこまで確認しているのか。</li> <li>・再度公告の入札では内訳を作り直しているが、価格の根拠としている資料や業者見積書は同一なのか。</li> <li>・内訳の再作成にあたって、当初公告に入札のあった事業者から見積の徴取を行っているのか。</li> <li>・1社のみ入札の問題解決に向けた取り組みを伺いたい。</li> <li>・再度公告も不調であった場合どのように対応するつもりであったか。</li> <li>・当初公告時に資料請求のあった事業者は、普段から出入りのある事業者か。</li> <li>・公告にあたって事業者へ声掛け等を行っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学内部で計画、設計内容や金額等を検討した後、有償で設計業者へ設計、積算、監理までを委託している。</li> <li>・書籍であれば引用ページ数、外部業者見積によるものであれば見積書まで要求し確認している。</li> <li>・内訳作成ごとに異なる資料、見積書を参考としている。</li> <li>・設計内容の変更や積算の見直しを行ったが、当初公告の入札業者から見積の徴取は行っていない。</li> <li>・今期の夏は建設需要が高く、事業者の協力を得にくい状況であった。発注者としてより多くの事業者に入札してもらえる設計や工期について、引き続き検討していきたい。</li> <li>・入札額と予定価格の乖離が大きければ、再々公告とするし、小さければ交渉の上、不落随契も検討する予定であった。</li> <li>・3社のうち1社は取引実績のない事業者で、残り2社は過去に工事の施工実績のある事業者である。</li> <li>・声掛けは行っていないが、学内掲示板、大学ホームページ、文部科学省ホームページに公告情報の掲示を行っており、事業者はそこから情報を得て応募してきている。</li> </ul>
<p><b>(2) 電話交換機更新工事【一般競争入札】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格と入札額に大きく開きがあるが、積算は適正であったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計において主要電話機メーカー複数社より機器価格の見積書を取得し、その平均価格にて予定価格の作成を行ったが、入札事業者の内訳を見るに、その機器価格の3割から4割程度の価格での入札となったため、大きな乖離が生じてしまった。</li> </ul>

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・期限内での施工が困難との理由で辞退している事業者がいるが、今回の落札業者は、期限内での施工が可能なのか。</li> <li>・工事内容としては、機器交換と配管配線作業のどちらが多いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札事業に設定工期内での施工が可能と確認している。</li> <li>・機器交換が大部分を占めている。</li> </ul>

委員講評

<p>1. 全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の案件について問題はない。</li> <li>契約日の確認資料として、押印後の契約書写しを資料として添付されたい。</li> </ul>
---